



平成28年度の県内温室効果ガス排出量について

皆さんは群馬県の温室効果ガス排出量をご存じですか？

平成31年2月に県が発表した平成28年度(2016年度)の県内温室効果ガス排出量は、1,793万tとなり、前年度と比較すると1.4%減少しました。温室効果ガスの約9割を占める二酸化炭素については、前年度に比べ1.8%減少しました。

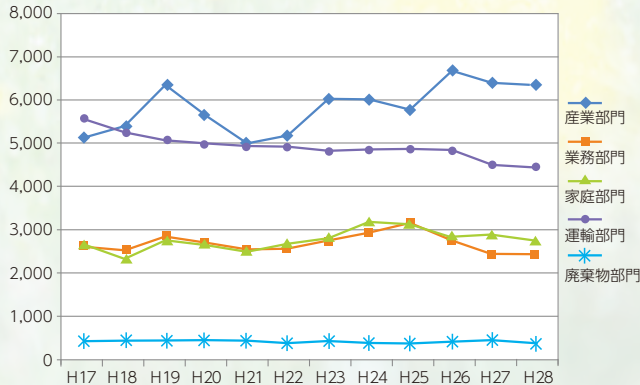
県内温室効果ガスの排出状況

	H 19 年度	H 27 年度	H 28 年度		
	排出量(千トン)	排出量(千トン)	排出量(千トン)	対前年度比(%)	対H19年度比(%)
二酸化炭素 (CO₂) 計	17,655	16,894	16,588	▲ 1.8	▲ 6.0
エネルギー起源計	17,219	16,435	16,203	▲ 1.4	▲ 5.9
産業部門	6,348	6,400	6,391	▲ 0.1	0.7
業務部門	2,860	2,441	2,392	▲ 2.0	▲ 16.4
家庭部門	2,762	2,907	2,786	▲ 4.1	0.9
運輸部門	5,079	4,516	4,463	▲ 1.2	▲ 12.1
その他	171	171	171	—	—
廃棄物部門	436	460	384	▲ 16.4	▲ 11.9
メタン (CH ₄)	363	363	363	—	—
一酸化二窒素 (N ₂ O)	677	677	677	—	—
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	94	72	74	3.4	▲ 21.2
パーフルオロカーボン (PFC)	268	49	45	▲ 7.7	▲ 83.1
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	1,045	33	33	▲ 0.8	▲ 96.9
三ふっ化窒素 (NF ₃)		96	152	59.0	
温室効果ガス総計	20,102	18,184	17,932	▲ 1.4	▲ 10.8

平成28年度の排出量が前年度と比べて減少した要因は、各部門においてエネルギー消費量が減少したことが挙げられるほか、電気1kWhを発電する際に排出されるCO₂量(電力排出係数)が下降[0.500→0.486(kg-CO₂/kWh)]したことも要因とみられます。

環境GS認定事業者の皆さまには環境マネジメントシステムの構築により、温室効果ガス削減の取組を推進していただいております。その取組の成果が現れているものと改めてお礼申し上げます。

(千t-CO₂)



部門別二酸化炭素排出量の推移

左図は、群馬県の部門別の二酸化炭素排出量の推移です。運輸部門においては、減少傾向が続いていますが、その他の部門では横ばいの傾向にあることが見て取れます。

平成28年に閣議決定された国の「地球温暖化対策計画」では、2030年度において、2013年度比26.0%の温室効果ガス排出削減を目標に掲げています。この目標の達成には、産業部門は約7%、業務部門は約40%、運輸部門は約28%の二酸化炭素の排出削減が前提となっており、取組の加速が求められています。

また、家庭部門の排出量は、上記「地球温暖化対策計画」において約40%の削減を掲げていますが、この達成のためには、一人ひとりが問題意識を持ち、日常生活における温暖化防止行動に取り組むことが重要です。事業者の皆様には、各事業所での取組に加え、従業員の皆様の個人や家庭での温暖化防止行動の取組についても、普及啓発を図っていただきますようお願いいたします。

※産業部門：製造業・建設業・農林水産業等

業務部門：オフィス・商業・サービス業等

運輸部門：運送業・自動車(貨物・旅客)・鉄道等

広告

PCB廃棄処理お困りではないですか？
PCB調査士が、PCB含有調査から廃棄方法の提案・
廃棄手続きのサポートをいたします。



お早めにご相談下さい！



MITSUBA

株式会社ミツバ環境ソリューション

〒376-0122 群馬県桐生市新里町野598

TEL: 0277-74-5958 FAX: 0277-74-5973

URL: <http://www.t-clover.co.jp>

ALL FOR SMILE

～ すべては笑顔のために ～

桐生信用金庫

※広告内容については、直接広告スポンサーへお問い合わせください。

※広告掲載を希望する方は、県庁環境政策課 (TEL:027-226-2817) へお問い合わせください。

環境GS認定10年目を迎えた事業者様



環境GS認定制度は、地球温暖化防止に配慮した事業活動の普及を図ることを目的として平成18年度にスタートしました。これまで県内の様々な業種、規模の事業者が環境GS認定事業者として認定されており、その数は平成30年度末現在で2,548事業者となっています。



平成22年度に認定を受けた事業者の皆様は継続10年目となりました。10年間にわたり、温室効果ガスを持続的に削減する環境マネジメント活動を行っていただき、ありがとうございます。今後とも環境GS認定制度を活用し「環境と経済の両立」という考え方のもと、地球温暖化防止活動に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

◇継続10年目を迎えた環境GS認定事業者の皆様 130事業者

太田市新田商工会	株式会社沼建	群馬自動車燃料販売株式会社	富岡SS	株式会社井ノ瀬運送 東毛センター
有限会社山銅製作所	株式会社オーケンコーポレーション	群馬自動車燃料販売株式会社	安中SS	イナバオートサービス
みどり市商工会	株式会社フレッセイ 田部井店	群馬自動車燃料販売株式会社	セルフ高崎小八木店	サンシン縫製株式会社
桐生市黒保根商工会	株式会社フレッセイ 富塚店	群馬自動車燃料販売株式会社	整備工場	玉原東急リゾート株式会社
館林商工会議所	株式会社フレッセイ 玉村店	群馬自動車燃料販売株式会社	北高崎SS	株式会社大堰観光(群馬営業所)
太田商工会議所	板橋自動車钣金塗装	群馬自動車燃料販売株式会社	セルフ高崎飯塚店	信正運輸株式会社
岡村工業株式会社	小林工業株式会社	群馬自動車燃料販売株式会社	倉賀野バイパスSS	株式会社ケイ・エフ・ティー
太陽誘電株式会社 高崎グローバルセンター	株式会社とりせん 大原店	群馬自動車燃料販売株式会社	高前バイパスSS	星野物産株式会社
桐生商工会議所	株式会社とりせん 箕郷店	群馬自動車燃料販売株式会社	高崎駅東口SS	東吾妻町商工会
太陽誘電株式会社 玉村工場	丸幸株式会社	群馬自動車燃料販売株式会社	京ヶ島通りSS	三笠産業株式会社 館林工場
株式会社日装	CPIコンサルタントオフィス	群馬自動車燃料販売株式会社	大八木SS	群馬スノーアライアンス株式会社
株式会社美才治工業所	株式会社サンビック	群馬自動車燃料販売株式会社	ピツカーズ高崎藤岡	かごめ通り商店街 くいーん
株式会社ファイン・ラベル	ウエスタン塗装株式会社	群馬自動車燃料販売株式会社	セルフ前橋西善店	かごめ通り商店街 株式会社小野里商店
石橋建設工業株式会社	笠懸町商工会	群馬自動車燃料販売株式会社	第二営業部	かごめ通り商店街 有限会社カドスズ
有限会社高橋精機製作所	株式会社東園芸	群馬自動車燃料販売株式会社	ヘリポート	かごめ通り商店街 金市商店
株式会社玉造	北海製罐株式会社 明和工場	群馬自動車燃料販売株式会社	施設管理事務所	かごめ通り商店街 有限会社せきいストア
株式会社大東スピニング	オコノギ運輸有限会社	群馬自動車燃料販売株式会社	伊勢崎SS	かごめ通り商店街 タナカヤ
兵藤建設株式会社	株式会社四万温泉山口館	群馬自動車燃料販売株式会社	太田飯田SS	かごめ通り商店街 居酒屋なかよし
角屋工業株式会社	有限会社章設計事務所	太田流通センター卸協同組合		かごめ通り商店街 有限会社メガネのミエール
株式会社岡田商会	中村化成工業株式会社	株式会社栗原医療器械店		かごめ通り商店街 ヤギヤ
株式会社アイセン	田島縫製株式会社	群馬燃料株式会社		かごめ通り商店街 有限会社ユナイテッド
株式会社イトーキ 群馬支店	角田電気工事株式会社	株式会社アイテックプラン		大泉町商工会
フタバ運輸有限会社	株式会社井沼製作所	シグマ機器株式会社		横浜スレート工業株式会社
株式会社モリシタ	グンセン株式会社	株式会社日東システム開発		群馬ジカハイ運輸株式会社
東栄電工株式会社	NPO法人地球温暖化防止ぐんま県民会議	金子電気工事有限会社		日邦工業株式会社 伊勢崎工場
有限会社エステック	株式会社戸部組	田代モーターズ		長谷川有機株式会社
群馬総業有限会社	川場村商工会	新井木材有限会社		杉木土建株式会社
共同技研化学株式会社	ハルナプロデュース株式会社 タニガワプラント	有限会社深澤工業		成和工業株式会社
ローズクイーン交通株式会社 本社営業所	中之条町商工会	渡邊林業株式会社		株式会社浅野本社 群馬工場
東群運送株式会社 伊勢崎物流センター	高崎市榛名商工会	金子林産有限会社		株式会社石倉組
有限会社興産運送	三羽工業株式会社	プラス金属工業株式会社		一般社団法人群馬県損害保険代理業協会
有限会社野手商店	群馬自動車燃料販売株式会社	株式会社伏島館		
有限会社釜田家 かまだ家本店	群馬自動車燃料販売株式会社 配送センター	高崎貨物自動車株式会社 高崎営業所		

※環境GS認定10年以上の事業者様にご利用いただけるロゴマークがあります。(左ページの左上参照)
利用をご希望の方は、県ホームページ掲載の様式により申請してください。

平成理研株式会社 群馬営業所



認定番号 272645
 住 所 太田市下浜田町1085-40
 電話番号 0276-45-7252
 従業員数 178名
 事業内容 環境調査分析・環境対策設備施工メンテナンス・水処理薬品製造販売
 代表者 所長 蓮沼 稔
 GSマネージャー 蓮沼 稔
 GSサブマネージャー 大嶋 賢一
 GSサブマネージャー 下山 修平

わが社の一押し

弊社は昭和25年にボイラー水処理薬品の製造販売にて創業を致しました。平成3年に「澄んだ空 されいな水 みんなの願い」をコーポレートスローガンに掲げ、環境調査分析・環境対策設備施工メンテナンス・水処理薬品製造販売の分野で北関東を中心に地域密着の繰り返し営業を行っております。今後とも、「環境問題のトータルソリューション」によって、お客様が満足する価値を創造し、地域社会への貢献するための価値も創造し提供に努めて参りたいと考えております

現場からひとこと

車の運転の頻度が高い当営業所では、エコ運転はGS活動の重要な要素であり目標燃費を設定し意見交換を行うなど楽しく活動に取り組んでおります。また事務所の空調も温湿度計で「見える」化を図り、こまめな温度管理を行っております。今後も所員一丸となってGS活動に取り組んで参ります。

門倉テクノ株式会社



認定番号 272605
 住 所 前橋市小出町3-1-5
 電話番号 027-210-1022
 従業員数 47名
 事業内容 電気工事業・電気通信工事業
 代表者 代表取締役 門倉 達朗
 GSマネージャー 門倉 拓也
 GSサブマネージャー 飯島 豊
 GSサブマネージャー 松嶋 康

わが社の一押し

弊社は『誰もがやさしさを持って新しい社会に共存できるように、知識・技術・独創性を図り、活力とゆとりのある人間社会を実現します。家族を大切に、電気工事を通じて社会に貢献します。』を経営理念としております。お客様を第一と考え、日々進化する電気技術を活かし、CO2削減に応えた「環境に優しいエネルギー」などの設備の提案を行っております。若さとフットワークを武器に、地域に根付いた街の電気屋であり続けます。

現場からひとこと

環境GS認定を頂き、5年目を迎えました。社屋新築に伴い、屋根に太陽光発電を設置し、LED照明や人感センサー、空調の全館一括管理など、電気工事に携わる会社として積極的に省エネに取り組んでおります。コピー用紙の両面印刷や、ごみのコンパクト化、エコドライブなど、今後も社員一丸となり小さな事から取り組んでまいります。

フジコー株式会社



認定番号 272612
 住 所 前橋市江田町111-2
 電話番号 027-251-1765
 従業員数 17名
 事業内容 スチール家具・木製家具卸売業
 代表者 代表取締役 根岸 誠
 GSマネージャー 野口 祐子
 GSサブマネージャー 塚本 容子

わが社の一押し

1963年の創業以来、什器備品のパイオニアとして、オフィス・学校・医療施設はもとより、公共ホールやスポーツ施設、物流設備向けの商品に加え、スチール建材・オーダー家具・サインを柱とする専門商社です。近年は、「オフィス環境」を投資と考え、オフィスを自社のブランディングや採用力アップ、社員満足度アップに活用したいと考えている「オフィスにこだわり」をお持ちの経営者に対して、これまで培われてきた豊富なノウハウと幅広い商品ラインナップにより、業績向上に繋がる「デザインオフィス」づくりをサポートさせて頂く「空間プロデュース会社」としての役割が増えています。

現場からひとこと

販売及びオフィス業務において、省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減及びグリーン調達を推進しています。特に、環境に配慮した製品・サービスの提案活動では、森林を育成し、森林の環境保持力を推進するため「県産材や間伐材を活用した木製家具」の提案を「ぐんまの木活用コーディネーター」の面々が努めています。

株式会社エコセンター



認定番号 231395
 住 所 吾妻郡東吾妻町大字岩井963-1
 電話番号 0279-68-5013
 従業員数 21名
 事業内容 環境分析、ビル環境
 代表者 代表取締役 鈴木 敦
 GSマネージャー 土田 和宏
 GSサブマネージャー 水出 忍
 GSサブマネージャー 浅見 健治

わが社の一押し

環境分析・ビル環境の業務を営む弊社は、平成9年12月に設立以来、地元の皆様に支えられながら22年目を迎えております。弊社の社名であるエコセンターの「エコ」は「エコロジー」からとりました。私たちは環境分析を環境保全に資する技術として位置づけ、この技術をもって社会に貢献したいと考えています。

今後も環境分析・ビル環境を軸として、様々な観点から地球環境保全の意識を持ち、社員一人一人の意識を高め、環境活動に取り組んでいきたいと思っております。

現場からひとこと

環境GS認定を取得して9年目となりました。これまで省エネ活動やエコ運転等に力を入れ活動を行ってまいりました。各車両にドライブレコーダーを設置したことにより、社員一人一人がエコ運転に対する認識を持ち活動に取り組んでおります。これからは、環境GS事業者として環境保全に対する意識を高く持ち、社員一丸となり活動を行ってまいります。

ケーブルテクノシステム株式会社



認定番号 272598
 住 所 前橋市城東町5-652-5
 電話番号 027-220-5200
 従業員数 9名
 事業内容 電気通信工事・電気設備工事
 代表者 代表取締役 関口 正三
 GSマネージャー 関口 敏邦
 GSサブマネージャー 田畑 直紀
 GSサブマネージャー 狩野 陽子

わが社の一押し

弊社は、テレビ電波障害設計・施工・保守や、難視聴対策などを主とし1997年創業の電気通信・設備の会社です。

最近では、光ファイバーの敷設や接続などの仕事や、ケーブルテレビ関連の仕事も精力的に行っています。

今後も、持っている技術や有資格者の知識を活用し、電気工事の仕事に取り組み、少しでも社会に貢献できればと考えます。

現場からひとこと

環境GS認定を取得し、5年目に入りました。当初より節電や資源活用は社をあげて取り組んできました。今後も、仕事の関係で多くなる産業廃棄物の分別処理や、事務所内では書類のペーパーレス化、書損紙等の徹底活用、作業車のエコ運転などに努め、微力ですが地球温暖化の抑制に貢献できればと思っております。また今年も従業員の現場作業中の熱中症対策に充分気をつけたいと思っております。

株式会社ナガシマ 群馬オフィスづくり.com



認定番号 272634
 住 所 伊勢崎市三光町3-10
 電話番号 0270-26-1726
 従業員数 7名
 事業内容 オフィス空間の構築
 代表者 代表取締役 長島 誠
 GSマネージャー 木村 清美

わが社の一押し

昨今オフィスは、「樹木」のイメージが変わってきております。オフィスコンセプトも、ファミレス風の事務所が人気です。一方、高効率エアコンへの更新、LED照明の採用、省エネルギー化の流れも定着して参りました。弊社は、伊勢崎市、本庄市、前橋市の法人事業所様向け快適なオフィス空間の構築を目標に日々活動させて頂いております。

現場からひとこと

東日本大地震の後は、計画停電があったり、今まで当たり前だと思っていた事が、「実はそうではなかったんだと！」痛感する事態が続きました。その様な中、弊社では「省エネ・コンサル」様の指導の元、各種取組を開始致しました。指導を受けると、いままでも不必要な所に、大切な資源エネルギーを使っていたんだな〜と反省させられる事に成りました。



廃プラスチックの問題について

廃プラスチックは、自然界では分解されにくいことから、海洋汚染も進んでおり、魚介類等はマイクロプラスチックの悪影響も受けます。2050年には重量比で、海の中の廃プラスチック（推定10億t）と全魚類（推定8億t）の重量が同じになるとも警告されています。

多くの世界各国がすでに製造、販売、使用禁止も含め実施し始めている中、我が国に於いてもレジ袋等の無償配布禁止（有料化）が法制化される事となりました。また、民間企業もストローをプラスチックから紙やパスタ等に変えているニュースも目にする等、関心が高まっております。

近年日本では、プラスチックゴミは中間処理された後、多くはリサイクル原料として中国へと輸出してきました。（図1参照）

しかし、中国国内で急増するごみと外国から輸入されたごみ問題が中国国内で社会問題化する中で、2017年7月に中国政府は「輸入廃棄物管理目録」を改正しこれにより、生活由来の廃プラスチックや未分別の紙くずや繊維くずの輸入が制限され、2018年1月から中国へ資源ごみを輸出できなくなりました。

日本の全廃棄物量 435百万t【一般廃棄物44百万t + 産業廃棄物391百万t】(平成27年)
うち廃プラスチック 9百万t 約2%

図1 廃プラスチックの処理方法の割合

処理方法		処理量 (千t)	割合 (%)
リサイクル	材料リサイクル (輸出)	1,680	17.9
	材料リサイクル (国内)	340	3.6
	ケミカルリサイクル	300	3.2
熱回収	廃棄物発電 ※1	3,190	34.0
	セメント燃料化 ※1	1,180	12.6
	熱利用 ※1	970	10.3
未利用	焼却 ※1	980	10.4
	埋立て	740	7.9

※1 焼却関連合計 67%

こうした背景の中、廃プラスチックはすでに国内での処理が追いつかず、処理料金の高騰に加え、新規受入れが出来ない処分場もでてきています。このままの状況が続けば、やがて行き場をなくした廃プラスチックは、違法な処理業者により不法投棄され環境汚染の増加も懸念されます。排出事業者の方にはプラスチックゴミを減らす事と共に、料金の安さだけでなく信頼のできる処理業者の選定が重要になります。

出典：環境省ホームページ (<http://www.env.go.jp/>)

補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その21

はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その21」をお届けします。今年度も9月に入り、多くの補助金が募集終了となりました。今回は「消費税軽減税率制度」への備えとして活用できる「軽減税率対策補助金」についてお知らせいたします。最新情報や詳細は、軽減税率対策補助金HPをご確認ください。

軽減税率対策補助金とは

(1) 概要

① A型 複数税率対応レジの導入支援

A-1型 レジ・導入型	複数税率対応の機能を有するPOS機能のないレジの導入費用
A-2型 レジ・改修型	複数税率非対応のレジを対応レジに改修する場合の費用
A-3型 モバイルPOSレジシステム	複数税率に対応した継続的なレジ機能サービスをタブレット、PC、スマートフォンを用いて利用し、レシートプリンタを含む附属機器を組み合わせて、レジとして新たに導入する場合の費用
A-4型 POSレジシステム	POSレジシステムを複数税率に対応するように改修又は導入する場合の費用
A-5型 券売機	券売機を区分記載請求書等保存方法に対応するように改修又は導入する場合の費用
A-6型 商品マスタの設定	消費税軽減税率制度の実施前に、複数税率対応レジ等の商品マスタ設定をする場合の費用

【補助上限額】20万円/台。[複数台数申請等については、A型全体(A-6型を除く)で200万円/1事業者。]

【補助率】原則3/4 ※一部例外あり

② B型 受発注システムの改修等支援 ※B-1型は申請期間が終了している為、B-2型のみ記載

B-2型 受発注システム・自己導入型	自らパッケージ製品・サービスを購入し導入して受発注システムを改修・入替する場合の費用(※登録の製品・サービスが対象)
--------------------	------------------------------------------------------------

【補助上限額】発注システムは1,000万円、受注システムは150万円、両方の改修・入替は1,000万円。

【補助率】原則3/4 ※一部例外あり

③ C型 請求書管理システムの改修等支援

C-1型 請求書管理システム(指定事業者改修・導入型)	システムベンダー等に発注して、請求書管理システムを改修・導入する場合の費用
C-2型 請求書管理システム(ソフトウェア自己導入型)	自らパッケージ製品・サービスを購入し導入して請求書管理システムを改修・入替する場合の費用(※登録の製品・サービスが対象)
C-3型 請求書管理システム(事務機器改修・導入型)	ハードウェアと一体化した請求書管理システム・事務機器を改修・導入する場合の費用(※登録のシステム・機器が対象)

【補助上限額】150万円/1事業者(ハードウェアは10万円)。C-3型は、20万円/台。

【補助率】原則3/4 ※一部例外あり

(2) 申請

19年9月30日までに導入又は改修等し、支払が完了したものが支援対象。支払完了後、19年12月16日までに事後申請を行う。類型により、メーカーや販売店等による代理申請が可能。

補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター(TEL 027-289-5944)まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にしてください。

環境・エネルギー補助金サイト「エネポ」<http://www.ene-po.com/>

未来の企業応援サイト「ミラサポ」<https://www.mirasapo.jp/>

文責：環境GS推進員 関 誠



日傘の活用推進について

○概要

平成30年は記録的な酷暑により熱中症による5～9月の救急搬送人員数が統計開始以来最大数を記録するなど、熱中症予防対策の強化は喫緊の課題となっています。また、平成30年11月に閣議決定された「気候変動適応計画」では、暑熱による国民生活への影響が重大性・緊急性等が高いものとして位置づけられており、暑熱に対する適応策（暑さ対策）の推進が求められています。

そこで、環境省では、熱中症発症者数の増加が見込まれる初夏から夏季を中心に、一人ひとりの工夫で熱ストレスを低減できる暑さ対策として、暑さ指数の低減効果が比較的高い「日傘」の活用を推進しています。

○日傘の効果

① 暑さ指数の低減効果

昨年度、九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）と環境省が連携して行った「日傘無料貸出イベント」での暑さ指数（WBGT）の測定では、日傘を使用した場合、日向に比べて1～3℃程度のWBGT低減効果があることが確認されました。

② 人の熱ストレスの低減効果

人工気象室（気温30℃、湿度50%、日射量1.2kW/m²、風速0.5m/s）で15分間の歩行運動を2回、男性6名により帽子のみをかぶった場合と日射を99%以上カットする日傘を使った場合との比較を行った結果、汗の量が約17%減ることが確認されました。

また、平成23年度に環境省が行ったヒートアイランド現象に対する適応策の効果調査でも、上着を着用して歩行するケースに比べ、上着を着用しないクールビズを実施するケースの熱ストレスは約11%低減し、さらに日傘を併用すると合計20%低減できること、街路樹がないケースで日傘を使用する効果は、10m間隔で街路樹を形成する効果に匹敵すること等が判明しました。

熱ストレスの低減効果が高い日傘を、男女問わず活用してみたいはいかがでしょうか。

※環境省資料より抜粋

特に男性も日傘を普通に試してみたいはいかがでしょうか。「遮熱率95%以上、遮光率99.9%以上（一級遮光）、UVカット率99.9%以上で晴雨兼用」という高性能な商品もあり、炎天下でストレスほぼゼロを体感できます。

